

- 歴史講座 13:30~15:00**
- 講座番号① 源氏物語講座の「光源氏の六条院邸 -野分の見舞いと夕霧-」 **令和元年度後期延期分**
日 時:5月23日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号② 「安政南海地震の古文書を読み解く」 **令和元年度後期延期分**
日 時:7月4日(土)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
- 講座番号③ 「戦時下の少年少女たち -テーマ展のみどころ-」
日 時:7月19日(日)
講 師:平井 誠(当館専門学芸員)
- 講座番号④ 「紫式部日記を読む -源氏物語が成立したころの紫式部-」
日 時:7月25日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号⑤ 「戦争と若者たち -防空監視隊のすがた-」
日 時:8月22日(土)
講 師:多田 仁氏(伊予史談会常任委員)
- 講座番号⑥ 「四国の地震災害史 -過去の南海地震を知る-」 **令和元年度後期延期分**
日 時:9月26日(土)
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
- 古文書講座 13:30~15:00**
- 講座番号① 「宇和島藩士吉見家文書を読む②」 **令和元年度後期延期分**
日 時:8月9日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号② 「宇和島藩士吉見家文書を読む③」
日 時:9月20日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 民俗講座 13:30~15:00**
- 講座番号① 特別展開連講座「かこさとしの世界 -絵本と伝承あそび-」
日 時:6月7日(日)
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
- 講座番号② 「愛媛が誇る伝統芸能 文楽・人形浄瑠璃の保存と継承」
日 時:8月23日(日)
講 師:岡崎 均氏(大阪体育大学教授)
- 考古講座 13:30~15:00**
- 講座番号① テーマ展開連講座「四国最古級の旧石器時代の遺跡調査と課題 -伊予市高見!遺跡調査を中心に-」
日 時:8月1日(土)
講 師:沖野 美氏((公財)愛媛県埋蔵文化財センター)
- 講座番号② テーマ展開連講座「赤い旧石器を求めて -肱川流域の踏査成果-」
日 時:9月5日(土)
講 師:沖野 新一氏(愛媛考古学協会会員)

- 体験講座**
- 講座番号① 「おいしいコーヒーの淹れ方 -1杯のコーヒーから考える食のこと日本のこと世界のこと-」
日 時:5月16日(土) 13:30~15:30
定員20名
講 師:藤山 健氏
(オフィスナチュレ代表)
- 対象:一般
参加費:1,000円
【締切】:5月2日(土)
- 講座番号② バスツアー「四国中央市の新博物館&古墳巡り」
日 時:5月30日(土) 8:00~17:30
定員20名
対象:小学生~一般 **バスツアー**
※小学生は保護者同伴
参加費:5,000円~6,000円程度
【締切】:5月16日(土)
- 講座番号③ 「モラ~カリブの民族手芸」
日 時:6月6日(土) 13:30~15:30
定員15名
講 師:松野尾 ひろみ氏
(宮崎ツヤ子モラ研究所講師)
- 対象:一般
参加費:1,300円
【締切】:5月23日(土)
- 講座番号④ 「雅楽体験と八幡浜市内史跡散策」
日 時:6月13日(土) 13:00~15:00
定員20名
場 所:八幡神社(八幡浜市) **現地集合**
講 師:清家 貞文氏(八幡神社禰宜)
対象:小学生~一般
※小学生は保護者同伴
参加費:1,000円
【締切】:5月30日(土)
※保護者の方も参加費を頂きます。
装着着付け体験はありません。
- 講座番号⑤ 「やってみよう!拓本体験」
日 時:8月2日(日) 13:30~15:00
定員20名
講 師:中村 美琴(当館学芸員)
対象:小学生~一般
※小学生は保護者同伴
参加費:無料
【締切】:7月19日(日)



申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、**開講日の1週間前**までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。

お問い合わせ 企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

GW 出陣じゃー!!! よろい武者にへんしん **場 所** 文書展示室

よろいを着て、勇ましい武将気分を味わおう! **参加費** 当日の常設観覧券が必要(小学生以下無料)

日時 **5月3日(日)~5月5日(火・祝)** 10:00~12:00/13:00~16:00 **定員** 各日先着60名
(※受付は9:30~最終受付15:30) (※定員になり次第終了いたします。)

展示スケジュール 2020.4-2021.3

2020	4	特別展 「かこさとし絵本展~未来を生きる子どもたちへのメッセージ~」	常設展 えひめの歴史と文化 新常設展 密・空と海 -内海清美展	
5	4月25日(土)~6月21日(日)	「よろいかぶと」/「宇和島藩の測量図」		
6	GWイベント 5月2日(土)~5月6日(水・祝)			
7	特別展 「ふわふわシナモロール展」			
8	7月11日(土)~8月31日(月)			
9	7月11日(土)~8月31日(月)	れきは☆夏のイベントウィーク 8月13日(木)~8月16日(日)		
10	特別展 「戦国乱世の伊予と城-国史跡 能島城・湯築城・河後森城の世界-」			
11	9月19日(土)~11月23日(月・祝)	開館記念日イベント 11月15日(日)		
12				
2021	1	新春イベント2021 令和3年1月2日(土)・3日(日)		
2	特別展 「明石寺と四国遍路(仮)」			
3	令和3年2月13日(土)~4月7日(水)			

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
■観覧料

区分	一般	団体(2割引)
	520円	420円
常設展・テーマ展	中学生以下 無料	無料
	65歳以上 270円	220円
新常設展	観覧無料	

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展観覧券が必要です。

Museum Calendar 2020.4-6

4月			5月			6月		
日	月	火	日	月	火	日	月	火
5	6	7	10	11	12	7	8	9
12	13	14	17	18	19	14	15	16
19	20	21	24	25	26	21	22	23
26	27	28	31			28	29	30

休館日 ★ イベント

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 令和2年3月31日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館 No.101

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

テーマ展

よろいかぶと

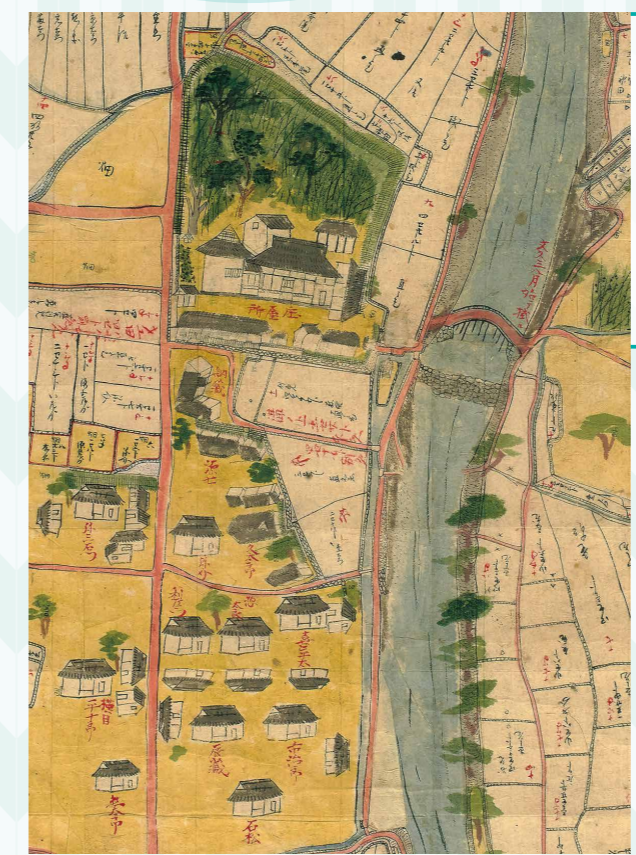
端午の節句に合わせて、江戸時代の大家に伝わった「よろいかぶと」を中心に、武具を展示します。「よろいかぶと」は、戦いのとき、矢や刀などの攻撃から自らの体を守るための武具です。端午の節句に「よろいかぶと」などを飾ることは、わざわざから身を守り、子どもの健やかな成長を祈る習わしとして江戸時代から広まりました。この機会に、貴重な「よろいかぶと」の数々をご覧ください。



緑色段染二枚胴具足(松山藩主松平定功所用) 紺糸成福側二枚胴具足(大洲藩主加藤泰興所用)

令和2年 **4月25日(土)~6月21日(日)**

会 場: 文書展示室
料 金: 常設展観覧券が必要
(高校生以上520円、65歳以上270円、小中学生無料)



真土村田方図面(部分) 弘化2(1845)年頃 個人蔵・当館保管

テーマ展

宇和島藩の測量図

当館編集の『古地図で楽しむ伊予』(風媒社、2018年)が第35回愛媛出版文化賞奨励賞を受賞したことを記念して、宇和島藩が作製した古地図を展示します。宇和島藩には、伊能忠敬が全国測量を開始する以前から測量図を作製した小川五兵衛という優れた測量家がありました。その測量術は継承されていき、幕末には田圃の一枚に至るまで描き込んだ古地図がつけられます。巨大でありながらも繊細。江戸時代の測量図の魅力をぜひお楽しみください。

令和2年 **4月25日(土)~6月21日(日)**

会 場: 考古展示室
料 金: 常設展観覧券が必要
(高校生以上520円、65歳以上270円、小中学生無料)

歴史

ながればた
流旗 (県指定有形文化財「鳴山菊池家文書」)

江戸時代に宇和郡布喜川村鳴山組(西予市三瓶町)の組頭を務めた菊池家に伝来した文書は、南北朝期から近・現代まで幅広い内容を含み、愛媛県の有形文化財に指定されています。中世文書は巻子に仕立てられていますが、そこには文書と一緒に1枚の旗もおさめられています。

麻の生地に墨書した簡素なもので、よく見ると上端が生地を折り返して細い筒状になっています。横から細い棒を通して紐で吊る流旗だったことが見て取れます。こうした小型で質素な旗は実用性が高かったと思われ、消耗品になることから貴重な現存例といえます。

最上部には、「伊勢天照大神宮」「三嶋大明神」「八幡大菩薩」の3神が見えます。本資料で特徴的なことは行間に梵字が4行入っていることで、右3行は大仏頂、左端1行は胎蔵界大日如来の真言を表します。その下には大きく「三」とありますが、伊予一宮大山祇神社の祭神三嶋大明神を象徴的に表すと考えられます。一方、中央に引かれた引両を境に下部には、藤らしき植物の三つ巴紋が入ります。代々菊池家の家紋として受け継がれてきた文様です。線を境に、上部には信仰の対象、下部には属する集団を表す構図になっています。

当館では、他にも南予に伝来した類似の旗2点を収蔵していますが、いずれも麻地に墨書、同様の構図、そして中央上部の「三」といった共通点を持ちます。一方で、神名や文様には違いがあります。互いの関連性などははっきりしませんが、これらの旗は使用当時の地域や集団のアイデンティティを知る貴重な手がかりの一つといえます。



(専門学芸員 山内治朋)

年代: 戦国時代か
法量: 72・8cm×34・6cm
所蔵: 個人蔵・当館保管

歴史

きゅうにい や はんかんけい しりょうさんさつ
旧新谷藩関係史料3冊

今回は、幕末維新期の新谷藩の様子を知ることができる史料3冊をご紹介します。新谷藩は、本家大洲藩からの分知により誕生した1万石の小藩です。新谷藩に関する史料は散逸しており、藩政などその実態に触れる研究は多くありません。紹介する3冊の史料は、嘉永6年(1853)から明治4年(1871)の藩政や藩士に関するもので、幕末維新期の揺れ動く情勢の中、新谷藩がどのように動いたのかを窺い知ることができる貴重な史料です。

「舊新谷藩国事并時勢二関スル事蹟」は、嘉永6年から明治4年までの新谷藩の動向が記されています。嘉永6年にペリーが来航した際、新谷藩8代藩主加藤泰理は即時開戦を主張し、家臣らは開戦した場合「藩主ノ馬前ニ於テ同戦死決心スヘシ」と覚悟して盟約連署を交わしていました。史料の最後は、藩知事を罷免され華族となった加藤泰令が東京へ移る際に、各村の里長へ宛てた諭達で締めくくられています。

「舊新谷藩歴叙」という史料は、慶応3・4年(1867・68)の王政復古から戊辰戦争期における藩士の書簡等を記録したものです。王政復古では朝廷警備のため藩士が上京する旨や、松山征討における松山城下立花口関門の警備や三津浜での蔵米管理に関するやり取りなどから、新谷藩の慌ただしい動きを窺うことができます。

3冊目の「旧新谷藩分限録」という史料は、明治4年に作成された旧新谷藩士の名簿のようなものです。版籍奉還後は家格制も廃されて士・卒族に二分、官位も大参事など新たな格付けがなされ、藩も石高数により大・中・小藩と三分されるなど改革がおこなわれます。この「旧新谷藩分限録」には、士族84名・卒族83名の氏名と役職名の他に、「元高、改正禄、役料」が一人ひとり記され、改正後の俸禄、いわゆるお給料の増減がまとめられています。

ご紹介した3冊は、幕末維新期における新谷藩の様子を知ることができる史料でした。新谷藩士の家資料では、当館資料目録第28集『武家文書目録II』に知行高100石であった三橋家史料の目録が集録されており、併せてご覧ください。

(学芸員 甲斐 未希子)



年代: 幕末維新期
所蔵: 当館蔵

かこさとし絵本展

～未来を生きる子どもたちへのメッセージ～

令和2年

4月25日(土)・6月21日(日)



会場	企画展示室
料金	高校生以上 700円(1000円) 65歳以上 350円(500円) 小中学生 350円(350円) ※()内はセット券(常設展+特別展)の観覧料です。

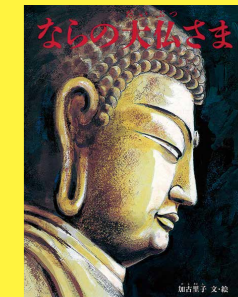
2018年、惜しまれつつこの世を去った絵本作家のかこさとし(1926-2018)。国民的な絵本作家として代表作『だるまちゃん』シリーズや『からすのパンやさん』など、子どもたちの心を捉えて離さない数々の絵本を生み出してきました。

また、かこさとしは、高校時代に国語教師で俳人の中村草田男(松山出身)から俳句の指導を受け、ペンネーム「里子」はこの時に使っていた俳号に由来していたり、愛媛県内の伝承遊びの情報を収集するなど、愛媛との関わりのある人物でもあります。

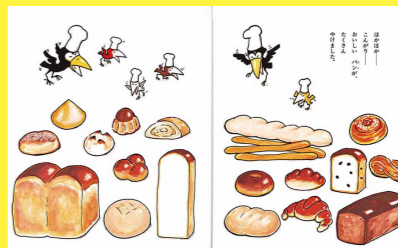
本展では、子どもたちの心に寄り添い、その未来を全力で後押しする、温かさあふれる、かこさとしの絵本の世界を、15作品以上の複製原画約100点などを通じて紹介します。幅広い世代の皆さまに楽しんでいただける展示になっておりますので、ぜひお楽しみください。



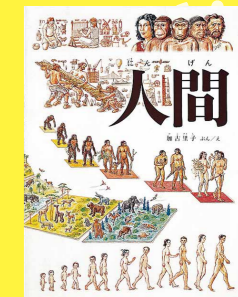
『だるまちゃんとうさぎちゃん』(福音館書店、1977年)



『ならの大仏さま』(復刊ドットコム、2006年)



『からすのパンやさん』(楳成社、1973年)



『人間』(福音館書店、1995年)

関連イベント

関連講座
「かこさとしの世界
—絵本と伝承あそび—」

●日時: 6月7日(日) 13:30~15:00
●講師: 大本敬久(当館学芸員)

オリジナルスタンプラリー

●参加: 共通観覧券(当日券)が必要
会期中毎日実施! 館内を巡ってオリジナル絵はがきをゲットしよう!

楽しいワークショップも開催!

会期中の土・日・祝日
10:00~12:00 / 13:00~16:00

だるま貯金箱をつくろう!

●参加費: 500円



新聞紙で
清正兜&うさぎの
帽子をつくろう!

参加無料



樹脂粘土で
パンマグネット
をつくろう!

●参加費: 300円



アイロンビーズで
ぶんぶんゴマを
つくろう!

●参加費: 300円



GWイベント

開校! 忍術教室

テレビや海外でも活躍中の
忍術集団「黒党」による忍術教室!

5月3日(日・祝) 定員各回294名

◆時間: ①11:00~②14:30~
◆場所: 多目的ホール
◆参加: 当日の共通観覧券と
入場整理券が必要

入場整理券の配布<先着順>

◆配布所: 総合案内横の整理券配布所
◆時間: ① 9:15~10:30
② 13:00~14:00
※詳しくはHPをご確認ください。

れきはくのアシあと

れきはくでは、2月15日から4月7日の会期中、特別展「四国・愛媛の災害史と文化財レスキュー」を開催しました。土・日・祝日には、防災ワークショップとして、食用油で作るキャンドル作りや新聞紙のお皿づくり、パラコードを使ったプレスレットづくりなどを実施し、家族で工作を楽しみながら防災について考えていただくきっかけとなりました。また、特別展の内容もお客様の関心の高いテーマだったようで、ミュージアムショップで図録を購入される方も多かったです。

